

## ため池等整備事業（継続）

【18,038（22,246）百万円】

### 対策のポイント

災害を生ずるおそれがあるため池等の農業用排水施設の整備や危機管理対策等を行い、農村地域の安全度を高め、災害の未然防止と被害の最小化を図ります。

#### （ため池等を巡る現状）

- ・平成20年6月に発生した岩手・宮城内陸地震をはじめ、近年甚大な自然災害が多発化する傾向にあります。
- ・地球温暖化に伴う気候変動の影響で大雨の頻度が増加したり、台風の強度が強まることなどにより、災害が頻発したり、激甚化する懸念が指摘されています。
- ・農村における農家の減少・高齢化に伴い、農地・農業用施設を管理する農家の防災対応力が低下する一方、混住化の進展等により生命・財産等の被災リスクが増大するなど農村の地域防災力が低下しています。

### 政策目標

集中豪雨等による被害の発生するおそれのある農用地について、防災・減災対策を実施

#### <内容>

老朽化若しくは周辺地域の自然的社会的条件の変化等に起因する脆弱化により決壊等の災害を生ずるおそれがある、ため池等の農業用排水施設の整備や危機管理対策・耐震対策、農業用河川工作物の応急対策を行うとともに、地域住民が参画するため池の保全体制を確立し、災害の未然防止及び被害の最小化を図る。

#### <事業実施主体等>

1. 事業実施主体 都道府県、市町村等
2. 補助率 1／2等
3. 事業実施期間 昭和28年度～

【担当】農村振興局防災課

岡野・向川（03）6744-2210（直）